



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-12

6月号

発行 2026年6月19日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)

会計 吉田 公代

主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』

スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』

書記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)

主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』

スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”

スローガン Change!

6月の聖句

悪からあなたの舌を、
嘆きの言葉からあなたの唇を守れ。
悪から離れ、善を行え。
平和を求め、これを追え。

(旧約聖書 詩編 34 編 14・15 節)

Keep your tongue from evil.
and your lips from speaking lies.
Turn from evil and do good;
seek peace and pursue it.

(Psalms 34:13・14)

(5月23日例会出席率)

出席者9名 クラブメンバー出席率 90%

卓話参加者32名

川越クラブ 5月例会議事報告

利根川太郎

日時:2026年5月23日(土)16:10~16:45

会場:ウエスタ川越 3階 研修室4

5月のゴールデンウィークを過ぎて、初夏の爽やかな晴天がまぶしい季節になりました。ところが、例年になく気温の上昇がはやく、夏日から真夏日に近い気温の日が続いて、早くも熱中症の心配がニュースになっています。

川越ワイズメンズクラブは、そんな暑さから急に気温が下がった5月23日(土)に、ウエスタ川越にて5月例会を実施しました。

今回の例会は、幼児教育と英語を柱とした教育とコミュニケーションについて、滑川裕子氏の卓話例会を開催しました。詳細は、吉野さんの報告に委ねますが、たいへん多くの皆様にご参加頂き盛会でした。この場を借りてご参加頂きました皆様にお礼申し上げます。

ここでは、その後行いました事務例会について報告します。

1. Yの森コーヒーについて

・4月購入分から、2,200円(250g入り)での販売となります。

・Yの森コーヒーの購入・売上げを「川越イモファンド」に移すかどうかについて、クラブ会計、ファンド会計の決算報告を待って、7月25日(土)の例会で検討することとしました。

2. 「川越イモファンド」の今後について

・山崎さんから、7月25日(土)の例会で検討したいとのご相談がありました。

3. 東日本区大会物品販売について

・川越クラブは、いも菓子(イモ松葉 550円20袋、イモ納糖 700円20袋)とYの森コーヒーを販売します。

4. 次回例会は、

6月27日(土)14:00~16:00 川越YMCA

・五十嵐政二さんの入会とかほるさんのメネット、お披露目を予定しています。

・木本君が代表の「ユースボランティアグループ」から活動報告があります。今後の活動についてのご願いもあるようです。

・次年度の予定も考えたいと思います。

5月例会卓話報告

吉野 勝三郎

日時:2026年5月23日(土)午後2:00~

場所:ウエスタ川越 会議室

卓話題:“地域と世界を結ぶ「人づくり」”

卓話者:滑川 浩子さん

【イントロダクション:生い立ちから英語との出会い、商社での歓び】

- ・ 警察官の父のもとに生まれ、幼少期から2、3年ごとの引っ越しを繰り返す生活を送りました。
- ・ 転居のたびに新しい学校で友達を作る経験を通じて、環境の変化に馴染む楽しさを学び、コミュニケーション能力が磨かれました。
- ・ 中高時代には一人一人と誠実に言葉を交わして仲間を作る喜びに目覚め、生徒会長などを務めました。
- ・ 私の人生を大きく変えたのは文化祭でのシェイクスピア演劇であり、ESS 倶楽部の『ベニスの商人』で英語の台詞に魂を込めた瞬間、英語の魔法に魅了されました。
- ・ 専門学校で英会話を身につけたのち、旧丸ビルの商社で働いていたOL時代には、海外からのご夫妻を相撲や歌舞伎へご案内し、生きた英会話で心を通わせる仕事の楽しさを満喫しました。
- ・ この時に培った「人と心をつなぐ情熱」とエネルギーが、その後の幼児教室の立ち上げや英会話塾、そして世界との交流へと繋がる私の原点となりました。

【幼児教室の立ち上げと理想の追求】

- ・ オイルショック時代の昭和48年、マンモス団地であった三郷団地へ転居した際、幼稚園不足や密室育児に悩む母親たちの孤立を目の当たりにしました。
- ・ 子供たちに仲間の輪を作りたいという思いから、わずか5名で幼児教室をスタートさせたところ、瞬間に150名もの希望者が殺到しました。
- ・ 商業主義の保育ではなく、理想の幼児教育を追求するために親同士で団結し、市長へ直談判を行ってプレハブ教室や予算を獲得しました。
- ・ 園長として、目に見える結果や点数にとらわれず、泥んこ遊びや園外散歩など地域全体を教材にし、子供自らが伸びる力を信じる「のびのび保育」を展開しました。

【こども英会話塾:楽しい英会話から総合学習塾へ】

- ・ 鶴ヶ島への転居後、点数が主体の学校英語ではなく、子供たちがワクワクするような「夢を与える生きた英会話」を伝えるために独自の英会話塾を立ち上げました。
- ・ 愛車に大量の教材を積み込み、埼玉県内の広範囲にわたる各教室(上福岡、川越、吉見、行田など)を自ら運転して回り、毎年200名を超える子供たちに英語の楽しさを教えました。
- ・ 日常生活の楽しい英会話を実践する場として、国内の温泉宿での夏合宿や、米国西海岸でのホームステイ・サ

マーキャンプを企画し、子供たちへ生の英語に触れる海外研修の機会を提供しました。

- ・ 生徒の多様な要望に応えるため、英語だけでなく国語・数学・理科・社会の指導も充実させました。さらに、先進的なCAI(コンピュータ支援教育)システムを多額の費用を投じて導入し、他教科も効果的に学べる総合学習塾へと発展させ、地域で親しまれる学習塾となりました。
- ・ この塾の運営の根底にあったのは、幼児教室の立ち上げで学んだ「生徒の親との信頼関係」でした。保護者との密なコミュニケーションを大切にすることで、子供たちが安心して楽しく通える塾づくりを貫きました。

【最後のステージ:マリオンとの出会いと広がる国際交流】

- ・ 塾の運営で多忙を極め体調を崩して事業を縮小していた時期、池袋で不安そうにしていた女性にかけた「May I help you?」の一言から、マリオンという女性との30年にわたる国境を越えた友情が始まりました。
- ・ この出会いをきっかけに国際交流への情熱が再び広がり、「埼玉県ワンナイトホームステイ事業」に登録して、42人もの海外からのゲストを迎え入れました。
- ・ 英語を「杖」として私の旅は世界中へと広がり、米国での1日1000キロドライブや、パプアニューギニアでの部族長との対話など、四大陸にわたる多くの海外渡航と現地での交流へと発展しました。
- ・ 「人と心をつなぐ情熱」と英語という希望の光とともに、今なお心豊かな人生の旅を歩み続けています。

このような講演をして下さいました。滑川裕子さんは今年が丁度米寿になられることから、“米寿の記念講話”として準備され、長年の友人も多数出席加して熱心に耳を傾けておられました。最後には、埼玉県に因んだ民謡の手踊りも披露して下さいました。本当にありがとうございました。

ご息子の滑川光浩先生(嘉悦大学大学院教授)が講演のスライド準備から、全て完璧に準備して下さい、重ねてお礼申し上げます。





・各クラブからの活動報告がありました。各クラブとも活発な活動を行っている様子が報告されました。詳細はここでは省きますが、有用な情報交換の場になりました。

・議案審議

第1号議案 2026-2027 年度関東東部役員承認の件承認されました。

第2号議案 関東東部「部則」の改訂について承認されました

・部大会の扱いについて「原則」年1回以上とする
・東日本区からの補助金が廃止予定であることに伴い、「東日本区よりの助成金」を、「東日本区よりの「任意の」助成金」と改訂

次期クラブ役員研修会

・廣田光司次期部長から、次期活動方針が示されました。部長主題は「地域奉仕活動とYMCAサービスでクラブを元気に」です。お互いのCS・Yサ活動を知り合うことや、若者や地域の団体との協働、W4Wを全てのクラブで実施、などの計画が示されました。特に、「CS活動リスト」と「卓話者リスト」を部として作成しシェアすることが示されました。

・次期事業主査の紹介に引き続き、参加している区事業主任の山本剛史郎国際・交流事業主任、利根川恵子メネット事業委員長の紹介がありました。

・関東東部会計からのお願いがありました。特に以下の2点について注意喚起がありました。

○ユースボランティアリーダーズフォーラム負担金の納入期

限を、後期から前期に変更したこと。

○区からの補助金廃止に伴い、部費を今年度の1,000円から部則通りの2,000円に戻すこと。

以上報告します。



2025-2026 年度 東日本区年次代議員会報告

利根川太郎

6月6日(土)に、第29回東日本区大会石巻大会に先立って、石巻市河北総合センタービッグバン「集いの部屋」において、2025-2026 年度東日本区年次代議員会が開催されました。概要を報告します。

議決権を持つ代議員定数は64名、定足数43名のところ出席者47名委任状11名で成立宣言されました。



関東東部・2025-2026 年度第2回評議会・次期クラブ役員研修会報告

利根川太郎

5月30日(土)に東陽町コミュニティセンターYMCAホールにおいて、関東東部の標記評議会と研修会が開催されました。川越クラブからは会長の利根川太郎と、現次期の区国際・交流事業主任の山本剛史郎さん、現次期メネット事業委員長の利根川恵子が参加しました。川越クラブの吉野さん、吉田さん、生川さんは都合がつかず欠席でしたが、委任状を提出されました。以下、概要を報告いたします

第2回評議会

・鈴木雅博現部長から、部長報告がありました。鈴木部長は、「CHANGE 若者から発信！」の部長主題のもと、ユースの海外派遣に力を入れ、7人の学生がインド体験訪問をはたした旨の報告がありました。

・地域奉仕Yサ事業・会員増強事業報告が、金丸満雄主査からありました。CS事業資金支援申請は、川越クラブ、東京グリーンクラブ、所沢クラブ、東京ひがしクラブの4クラブからあり、いずれも申請通りに支援をしたと報告されました。

会員増強事業報告では、5月現在で4人の入会があり、お一人のご逝去で3名増の103名になったと報告されました。

以下の議案について審議が行われ、いずれも承認されました。

第1号議案

2025-2026年度東日本区年次報告承認の件

第2号議案

2025-2026年度東日本区中間決算報告及び会計監査報告承認の件

第3号議案

理事等の指名の件

2026-2027年度理事 山下真さん(十勝)

2027-2028年度理事 2028-2029年度理事

小林隆さん(熱海グローリー)

2026-2028年度財政監事 若木一美さん(鎌倉)

第4号議案

2026-2027年度理事方針、予算案、役員案承認の件

第5号議案

2026-2027年度臨時代議員会実施承認の件

第6号議案

第30回東日本区大会 開催地 ホスト承認の件

開催日 2027年6月5日(土)

開催地 北海道札幌市

ホスト 北海道部

テーマ「ワイズメン 大志を抱け」

最後に小倉恵一財政監事から講評がありました。その中で、現在の東日本区では役員の活動費が0であること、交通費が150Km以下の支出は無し、150Km以上の場合も実費の4割支援であることに言及がありました。その上で、これ以上の経費節減は事実上無理である旨の指摘がありました。財政委員会の発足等も計画されているようなので、各クラブにおいても現状認識を持ってほしいとのことです。

以上報告します。

第29回東日本区大会に参加して

吉田公代

6月6日から7日にかけて、石巻にて開催された東日本区大会に参加してきました。

11時30分の石巻からの会場行バスに乗るために、新幹線と在来線を乗り継いでやってきました。石巻の駅にて沢山のスタッフ達のお迎えを受けこの大会にかけてきた意気込みを感じました。

会場のメインの自動ドアが熊の出没のため閉められていたのでちょっとびっくりでした。ドアに入って右手に販売ブースがあり、各クラブが出店していました、川越クラブはお芋のお菓子とコーヒーの販売です。お芋のお菓子は少数残し、売り切れていました。さすがスーパー売り子の実力発揮でした。

大会はウェルカムコンサートから始まり恒例のパナーセレモニーがあり、ほぼ時間通りに運んでいたようです。

第1部の終了時にストレッチヨガがあり、楽しい試みだと思いました。

他の参加メンバーが第2部第3部の様子、そして晩餐会の様子を載せると思いますので私はこの辺で。

今回の大会は緻密に念入りに情熱をかけて行っていたことがいろいろな場面で感じられました。素晴らしい大会でした。



「第29回東日本区大会 石巻大会」報告

山本剛史郎

2026年6月6日(土)、宮城県石巻市にある河北総合センタービックバンにおいて東日本区大会が行われた。今回は東日本区のワイズメンだけでなく、西日本区からも多くのワイズメンが集まりました。私は仕事の都合で6月6日の当日、朝5時17分の始発で鶴ヶ島駅を出発し、川越、大宮、仙台を経て石巻駅に9時21分に到着しました。そこで9時30分、石巻駅発の送迎バスに乗り、10時ちょっと前、代議員会にギリギリ間に合いました。代議員会は特に問題なく無事に終わり、13時から東日本区大会が始まりました。

川越クラブからは新井さん夫妻、生川さん、利根川さん夫妻、吉田さん、山本と計7名が参加しました。いつものごとく、芋菓子、コーヒーなどを売ってファンドとしましたが、多くの方々のご協力により完売しました。

今回の第29回東日本区大会 石巻大会は「瓦礫 命感謝 次の未来へ！」というサブタイトルが示すように2011年3月11日に起きた東日本大震災からの復興と未来というテーマが含まれていました。しかし、1日大会ということもあり、内容もコンパクトにし、時間配分もきついスケジュールにしたため、最初はかなり時間が押し気味でしたが、最後には時間通りに終了することができました。大会の中の表彰では、YIA (Youth Involvement and Activities) 特別賞として川越クラブが選ばれました。これは今年のインド・ハイデラバードクラブとのIBC締結からインド体験・交流プログラムへと発展させ、ユースが本当のインドを経験するツアーを実現させたことに対する表彰でした。



夜の晩餐会においては東西日本区の多くのワイズと再開でき、とても楽しい時となりました。今回はいつも以上に

西日本区の方々が多く参加してくれて、いつも以上に盛り上がったような気がしました。また、晩餐会において、さとう宗幸さんステージが行われ、「青葉城恋唄」をはじめ多くの歌をうたってくれました。その中でも「あ・り・が・と・う・の歌」というのがとても印象深く残りました。



6月7日(日)は私は、日曜礼拝の後、エクスカーション「大川小学校と雄勝ローズファクトリーガーデンを訪ねる」に参加しました。大川小学校は東日本大震災の時、北上川をさかのぼってきた津波により、学校にいた74名の児童と10名の教員が犠牲になった場所で、私は今回で3回目の訪問でしたが、このエクスカーションを選びました。今回のエクスカーションでは震災当時、小学5年生で、現在は「Team 大川 未来を拓くネットワーク」の一員として大川小学校の伝承と未来を支えている方の話をきくことができました。そして、小学校の周囲を歩き、当時の様子や現在の活動についていろいろと教えていただきました。

エクスカーションを終え、16時頃、仙台駅にバスが着き、私はそのまま新幹線に乗り帰路につきました。

今回も日本各地のワイズと出会うことができ、とても楽しい時を過ごすことができました

東日本区大会に参加して

生川美樹

東日本大震災から15年の節目に、石巻市で開催されたワイズメン第29回東日本区大会に参加しました。仙台から石巻へ向かう車窓から、のどかな田園風景や松島の穏やかな海が広がり、以前見た景色と変わらぬその美しさに心が和らぎました。ここがかつて津波に襲われたとは思えないほどの景色でした。

大会で印象に残った出来事には、2019年7月に仙台で開催されたアジア太平洋大会の際にも歌声を披露くださった、さとう宗幸さんのステージがありました。あの時と変わらぬ歌声で、会場全体の一体感を感じることができ、感動を覚えました。また、参加者全員で「花は咲く」を合唱した場面もとても感動しました。会場全体が大きな祈りに包まれたような時間でした。もちろん、地元の方々の歌や、踊り、演奏も楽しませていただきました。

東日本大震災から15年という節目に石巻市で開催されるということで、実行委員会の皆様は、ご準備が大変だったことと思います。非常に細やかに大会のプログラムを企画されたことが感じられました。

「対面での交流の楽しさ♡(*~*)

ワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区石巻大会に参加・

タイのコーヒー、川越の芋菓子販売

(日時 2026年6月6日(土曜日)11時~17時)

(場所 石巻市河北センター(ビッグバン))

新井壽代

タイのコーヒーと芋菓子(芋松葉と芋納豆)を物販コーナーにて販売をさせていただきました。

東日本区大会ならではの！多くの笑顔との出会い、そして再会がありました。

共に出店している方々との交流も意義あり、日頃の活動や販売品についての話も伺いました。

石巻市在住のクラブメンバーから、販売時間の合間に、ランチタイムに、震災時のご苦労や震災後の歩みについてお聞かせ頂きました。

そして、物販コーナーを訪ねて下さった方々とは、久しぶりのご挨拶から、近況をお聞かせいただいたりと、それぞれ親交を深めました。中には「川越の芋菓子は懐かしい」「いつも買わせてもらいます」と、お声がけ下さる方もあって、嬉しい時間でした。

物販コーナーは販売をしますが、そのこと自体以上に笑顔で交流できる大切な場であると今回も実感致しました。多くの方々のご厚意に支えられて、持参したコーヒー豆も芋菓子も完売することが出来ました。

最後に、販売に関するフォローをして頂いた、ホストである石巻広域クラブ、仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・もりおかクラブの皆様にご挨拶を申し上げます。

国際の舞台から

利根川 恵子

6月は区大会目白押し！

6月6日(土)に東日本区大会が石巻で開催されましたが、6月はワイズ年度の最後になりますので、世界中のワイズメン・ウィメンがそれぞれの区大会で親睦と交流を図っています。

それぞれの区の特徴や雰囲気をお楽しみください。



東南アジア区大会(香港にて)



エドワード・オン国際会長も参加した台湾区第50回記念区大会。(台中にて)



ヨーロッパ地域中央・東部部大会（スロバキア・ブラチスラヴァにて）



ヨーロッパ地域ロシア区大会（キロフスクにて。BF 代表のシャージャ&アジット・バブー夫妻を迎えて）

リレー随想

離れた故郷の実家じまい

諸見里信子

早いもので、私達一家が那覇から川越に移り住んでもう20年以上が過ぎました。引っ越してからしばらくは地元恋しさもあって頻りに帰省していたのですが、年月が経つにつれ両親と私が体力の衰えを感じるようになり、また忙しい中時間を作るのも難しくなって年に一度のお墓参りに帰るのがやっとなってしまっていました。そして気が付いてみれば、世間では実家じまい、墓じまいの話題がよく聞かれるようになり、私達家族も否定なくその事を考えざるをえなくなりました。両親は高齢でもう遠距離の移動は難しいため、長女の私が元気うちに資産を整理しようという結論に至りました。今でないといけない・・・そんな焦燥感に少しずつとらわれていました。

そんな中、母が同級生に沖縄のマンションの部屋の売却を考えていると話したところ、その人から立地条件がとても良いので是非購入したいとの返事が返ってきました。それもすぐ使いたいので家財道具はそのまま出て行って良いというのです。家財道具の処分こそが私達にとって一番の懸案事項だったため、皆大きく心が動きました。ところが結局、その話は立ち消えになってしまいました。理由は駐車場がなかったからです。実家のマンションは都心の真ん中にあっただけ、部屋数に比べて駐車場が少ないのが難点でした。それでも公共交通機関が豊富にあり移動に困る事はなかったため、売却の時にそれが問題になるという視点が欠けていたのです。指摘されて初めて気が付きました。

そしてそれから、「駐車場がないから売れないかもしれない」という一抹の不安を胸に抱えるようになりました。

次に考えたのが、最近よく聞く不動産会社による買取です。これならば家財道具はそのまま売却出来るので、私達の要望を満たしてくれるものでした。買取を専門に行っているところに査定をお願いすると、とても良い条件で購入を申し出てくれた会社が見れました。

みな色めきたったのですが、結局それもご縁がなく終わりました。理由は年末年始をはさんでとにかく契約まで時間がかかってしまったからです。「鉄は熱いうちに打て」と言いますが、完全にタイミングを逃してしまいました。それからもう自信喪失です。まるで恋人に去られてしまったような虚無感にとらわれました。

ですがようやく三度目の正直が訪れました。お相手は以前からこちらのマンションの立地を高く評価してくれていた会社でした。駐車場がなくてもその評価は変わらず、今度こそ無事に契約の運びとなりました。みな本当に安堵しました。

ですがそれからは契約のための書類作成の連続で、気が遠くなるほどでした。結局売却が完了したのは思い立ってから半年後でした。

今回の件で実感したことは、住んでいた家を整理することは家族の歴史と決別するという事です。いくら家財道具はそのままといっても、さすがに残していけない物が沢山あり、それを仕分けするのに膨大な時間がかかりました。家族の写真、家計簿、手紙、趣味のコレクションなど・・・その仕分けをする中でいろいろな思い出が胸を去来していきました。二度契約が流れたこともあって何度も売却を諦めようかと思いましたが、「今でなければ出来ない」という気持ちがそれを回避しました。故郷に家がなくなったことによる心の空白はやはり大きいですが、それと同時に心の重荷も消えました。



YMCA報告

河合今日子

たんぼぼ&トースター5月活動報告

5月にYMCAの「たんぼぼグループ」および「トースターグループ」で、見沼グリーンパークで開催された国際フェアへ行ってきました。この国際フェアには毎年参加しており、子どもたちも大変楽しみにしている行事です。当日は快晴に恵まれ、子どもたちは自分の予算内で昼食を選んで購入したり、公園で思い切りボール遊びをしたりして満喫していました。以前は埼玉YMCAとしてブースを出展していましたが、浦和センターが閉館してからは出展を見合わせており、少し寂しさも感じられます。しかし、会場では埼玉NGOネットワークのブースで利根川恵子さんにお会いすることができ、利根川さんをよく知る子どもたちは大喜びで、嬉しい再会のひとときとなりました。

埼玉YMCA「夏の短期講習会」参加者募集

今年も埼玉 YMCA では、子どもたちの「できた！」を応援する夏の短期講習会を開催いたします。初めて参加するお子様も、この夏でステップアップを目指すお子様も、YMCA のリーダーが一人ひとりに寄り添い、優しく丁寧にサポートします。

ただいま参加申込を受付中です。定員になり次第締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください！

◆ 募集概要 ◆

- 日程：7月下旬～8月（※各コースの詳細はHPをご覧ください）
- 対象：幼児 ～ 高校生
- 種目：水泳、体操、サマースクール、キャンプ
- 申込方法：Web サイトまたはお電話にて受付中！

★詳細・お申し込みは「埼玉 YMCA」で検索してください。

編集後記

今号も多くの情報が寄せられ、嬉しい悲鳴でした。特に、石巻大会は、自分も現地に2度ほど行ったことがあるので、素晴らしい大会が成功裡に開催されたことを知り、準備・運営に当たられた皆さんに、心からの拍手を送ります。特に、我が川越クラブは YIA (Youth Involvement and Activities) 特別賞を受賞したことを、クラブの皆さん全員と喜びを共有させてもらい、このクラブの一員であることを嬉しく思います。

今年度は、今号で終わり、次号は川越クラブ 29 回年度となり No.29-01 です。次号発行にもご協力下さい。

(KY)